

木星型惑星の大気・深部循環と 内部構造論の結合に向けて

竹広 真一 (京大数理研)

2014 年 1 月 6 日

系外惑星大気ワークショップ 2014 / 惑星大気研究会

研究会初日の主旨

● 背景

- 木星型惑星大気モデル：表層のパターンの説明主目的
- 使用されるモデルが精緻化
 - 2次元モデルから3次元 GCM
 - ブシネスクから非弾性モデル
- ⇒ 組成に関する情報を得られる可能性 (計算できる)?
- 特に系外惑星では流れパターンは観測無理.
- 内部組成を考慮した (に注目した) 大気力学研究が今後進むかも?
- 一方で, 流体モデル計算に必要な情報は内部構造 (熱力学量の平均的分布, 状態方程式など)

● 主旨

- 内部構造 (静的モデル + 組成など) の研究と従来の大気力学研究を有機的に結びつけていく手始めとして...